

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、ご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

(記)

■ 変更内容一覧

令和元年9月30日(月) 受付分より

コード	項目名称	変更箇所	新	旧	備考
2844	25-OHビタミンD・Total	検査項目名 検査方法 保存方法 基準値 所要日数	25-OHビタミンD CLEIA 冷蔵 ビタミンD欠乏 ・20.0 以下 ng/mL ・15.0 以下 ng/mL であればより確実 4~6 日	25-OHビタミンD・Total CLIA 凍結 《未設定》 3~9 日	※1 ※2
751	セロトニン(血液)	報告書項目名 検査方法	血液)セロトニン LC-MS/MS	セロトニン HPLC	※3
2020	セロトニン(血漿)	報告書項目名 検査方法	血漿)セロトニン LC-MS/MS	セロトニン・血漿 HPLC	※3
712	膵グルカゴン	検査方法 検体量 基準値 報告下限 報告上限 報告桁数 所要日数	EIA EDTA・アプロチニン血漿 0.4 mL 5.4~55.0 pg/mL(空腹時) 3.5 未満 pg/mL 400.0 以上 pg/mL 小数1位 4~10 日	RIA(二抗体法) EDTA・アプロチニン血漿 0.6 mL 70~174 pg/mL 16 未満 pg/mL 999000 以上 pg/mL 整数 6~8 日	※4 ※5
2122	便中ヘリコバクター・ピロリ抗原	報告書項目名 採便容器	便中H・ピロリ抗原 別掲参照	便H・ピロリ抗原(EIA) 別掲参照	※6
2726	尿中L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)	検査方法 保存方法 報告上限 所要日数	LA(ラテックス凝集比濁法) 凍結 濃度 9999900.00 以上 ng/mL 3~4 日	CLEIA 冷蔵 濃度 200000.00 以上 ng/mL 4~5 日	※7
507	免疫複合体(イムノコンプレックス)	検査項目名 報告書項目名	免疫複合体C1q 免疫複合体C1q	免疫複合体(イムノコンプレックス) 免疫複合体・C1q固相	※8

※1. ビタミンD欠乏性くる病および骨軟化症の診断目的の検査

※2. 日本小児内分泌学会の「ビタミンD欠乏性くる病・低カルシウム血症の診断の手引き」にて示されている値を基準値として表記

※3. LC-MS/MS法の採用

※4. Non-RIA試薬への切替

※5. 溶血検体は低値傾向

※6. 試薬変更に伴い採便容器を変更

※7. 所要日数の短縮

※8. 項目名称の適正化

令和元年10月1日(火) 受付分より

コード	項目名称	変更箇所	新	旧	備考
2526	シスタチンC	基準値	M 0.60~0.98 mg/L F 0.49~0.82 mg/L	M 0.61~1.00 mg/L F 0.51~0.82 mg/L	※9
845	PIVKA-II	検査方法 報告下限 報告上限	CLEIA 1 以下 mAU/mL ∞	CLIA 5 以下 mAU/mL 300000 以上 mAU/mL	※9
697	C3(β ₁ C/β ₁ Aグロブリン)	報告下限	1 以下 mg/dL	5 以下 mg/dL	※9、10
698	C4(β ₁ Eグロブリン)	報告下限	1 以下 mg/dL	3 以下 mg/dL	※9、10
195	IgG	報告下限	6 以下 mg/dL	50 以下 mg/dL	※9、10
196	IgA	報告下限	3 以下 mg/dL	10 以下 mg/dL	※9、10
197	IgM	報告下限	2 以下 mg/dL	5 以下 mg/dL	※9、10

※9. 測定試薬の変更

※10. 報告下限の見直し

■ 検査受託中止一覧

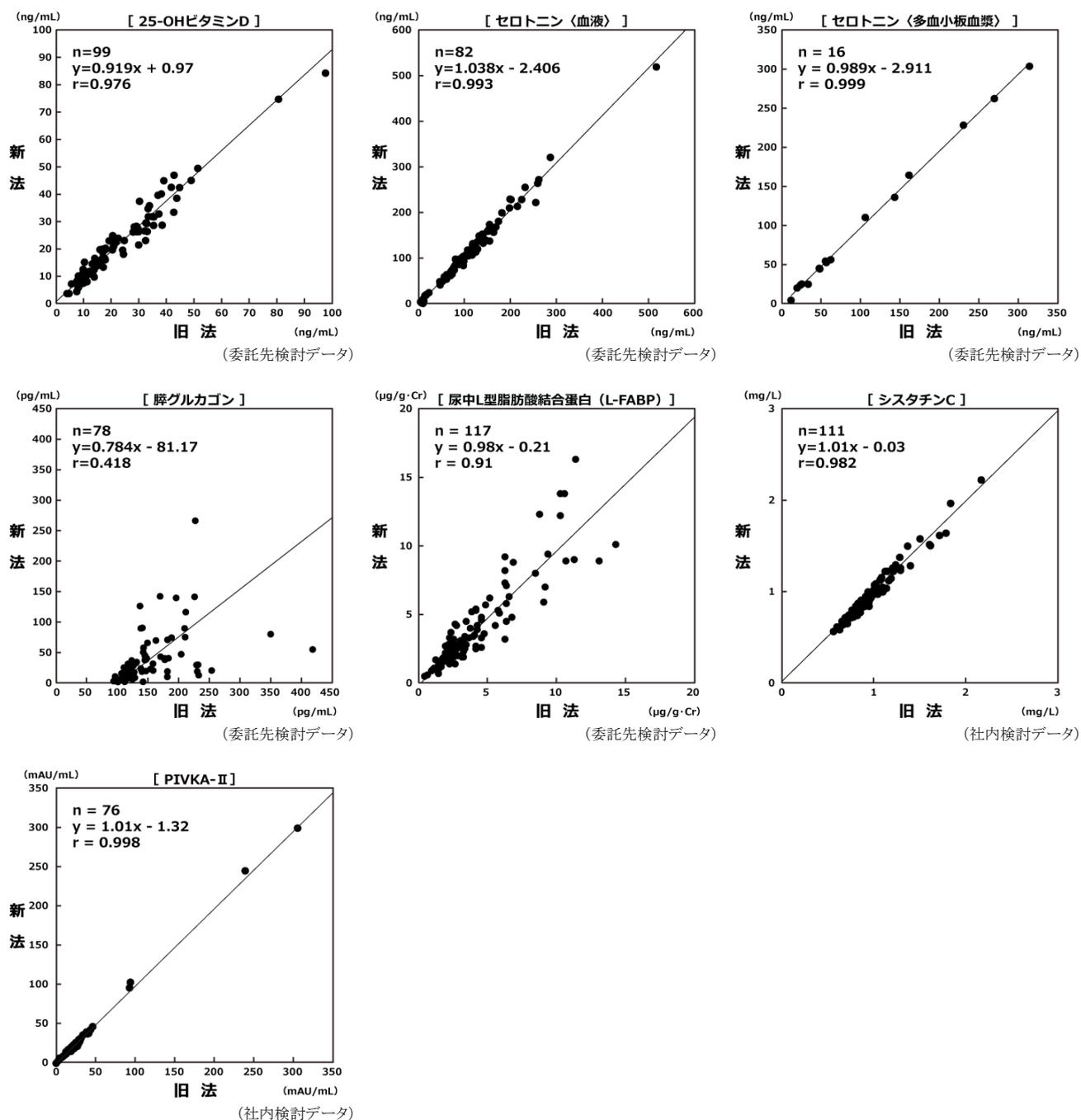
令和元年9月28日(土) 最終受付

コード	項目名称	備考
831	リバビリン	受託僅少

■ 便中ヘリコバクター・ピロリ抗原の採便容器

変更内容	新	旧
採便容器		
容器番号	49	49
添加剤	リン酸バッファー	安定化剤
保管方法	室温	室温
有効期間	容器表示	1年
備考	<p>※ 新容器のご注文につきましては、弊社営業担当または総合インフォメーションまでお申し付けください。</p> <p>※ 変更期日(令和元年9月30日)以前でも、新容器での検査受託が可能です。</p>	<p>※ <u>変更期日(令和元年9月30日)以降、旧容器での検査受託はできません。</u></p>

■ 新旧二法の相関



■ 参考文献

- 25-OHビタミンD..... 小島 哲:臨床化学 48(3): 239-244, 2019.
- 胰グルカゴン..... 菊池唯史, 他:臨床検査 61(7): 878-883, 2017.
菊池唯史, 他:医学と薬学 75(4): 417-424, 2018.
- 尿中L型脂肪酸結合蛋白..... 山田暁, 他:日本臨床検査自動化学会会誌 43(3): 252-259, 2018.
- シスタチンC..... 富野康日己:Medical Technology,34(7),737-742,2006.
- PIVKA-II..... 高津和子,他:臨床と研究 73(11),2656-2664,1996.

以上